

I・協
PPFP
LCC使い関空視察
公共施設等
運営権
仙台空港で活用へ

日本PFI・PPP協会(植田和男理事長)は17日、「仙台空港等と公共施設等運営権研究会」の活動の一環として、関西空港の視察を行った。仙台空港から49人がLCC(格安航空会社)を使って関空に向かい、大阪(伊丹)空港との統合後



仙台空港での集合写真

の空港運営などについて説明を受けた。視察には、現地合流者も合わせ69人が参加した。新関空会社は12年4

月に設立され、7月には大阪空港との一体運用を開始。視察団は統合時の滑走路事業の移管などの対応について説明を受けた。新関空会社は今後、法制度が整えば、公共施設等運営権を活用することになっており、その際に想定される危機管理の内容も説明した。

LCCの搭乗体験をした49人には、仙台空港がある宮城県名取市の佐々木一十郎市長も含まれる。新関空会社は同研究会のメンバーでもあり、佐々木市長は意見交換で同社に仙台空港周辺への積極的投資の検討を求めた。